

## 副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名 [ 工学部 ]

プログラムの名称	(和文) 化学工学副専攻プログラム
	(英文) Chemical Engineering
<p>1. プログラムの紹介と概要</p> <p>化学工学とは、化学を実生活に役立てる際に必要となる工学の学問体系、つまり“化学の工学”である。たとえば、新規に発見あるいは合成された新しい機能を持った物質を我々が利用できるためには、これらを工業製品として必要な量を適正な価格で効率的に生産する必要がある。そのためには、限りある資源・エネルギーを有効に利用し、環境に悪影響を与えず、かつ最も効率の良い生産方式（プロセス）を選定あるいは開発しなければならない。つまり、どの原料からどのような反応、プロセス、装置、操作条件で目的生成物を生産すればよいか、廃棄物をどのようにして無害化し自然界に戻せば良いかなどの検討を行い、生産方式を決めなければならない。化学工学は、最適な生産方式の開発、新しいプラントや装置の設計・運転管理に必要な原理を一つの学問体系にまとめたものである。</p> <p>化学工学は、化学製品の生産プロセス開発に必要な学問として発展してきたが、これ以外の生産プロセス、例えば食品、医薬品、鉄鋼、エネルギー産業などの生産工程も同様な考え方で構築できることから、化学工学を学んだ技術者はさまざまな産業で活躍している。また、化学工学の学問体系に基づいて生産プロセスを工夫することにより新しい機能性材料を開発することも可能であり、現在の化学工学ではこの点が注目されている。</p> <p>本プログラムでは、化学工学の社会的意義の理解、化学工学の基礎の習得および環境配慮型化学プロセスの概念の理解を目標とする。</p>	
<p>2. プログラムの到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学工学の社会的意義の理解。</li> <li>・化学工学の基礎的な知識の習得。</li> <li>・環境配慮型化学プロセスの概念の理解。</li> </ul>	
<p>3. プログラムの履修時期・要件</p> <p>(1) 履修開始時期とプログラム登録時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このプログラムは2年次以降に選択することができる。</li> <li>・プログラム登録は原則として履修開始前に行うものとする。</li> </ul> <p>(2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等)</p> <p>このプログラムを選択するためには、教養教育科目における下記の基盤科目を修得していることを強く要望する。</p> <p>微分学、積分学、線形代数 I、物理学 I</p> <p>(3) 履修上の注意点</p>	

各授業科目で単位を取得するために必要な出席および宿題・課題提出等に関しては、化学工学主専攻プログラムと同じ基準が適用される。

4. 教育内容・構造

別添の履修表を参照すること。

5. 授業科目及び授業内容

別添の履修表を参照すること。

各授業科目の内容については、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

6. 評価

(1) 試験・成績評価

各授業科目における試験・成績評価基準に基づく。詳細については、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

(2) 修了判定の基準

別添の履修表に従い、16単位以上を取得していること。

7. プログラムの責任体制

工学部第三類開設の化学工学プログラム（主専攻プログラム）担当教員会が担当する。

（責任者：島田 学）

8. プログラムの受入上限数

10名程度

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

6単位以内

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

16単位以内

**【副専攻プログラム履修に関する注意事項】**

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

